

令和3年度 さいたま市立和土小学校 学校運営協議会による評価書

さいたま市立和土小学校  
学校運営協議会  
会長氏名 吉田 さいみ

学校運営協議会による評価（協議会の委員の意見等）

1 令和3年度の学校運営について（保護者、児童、教職員によるアンケート結果より）

- ・前年度と比較すると、ポイントが下がっている項目もあるが、概ね高く、コロナ禍においても充実した教育が行われている。
- ・目指す児童像「かしこい子」への取組について充実していると感じる。校内の図工や書写の作品からも、子ども達が楽しく学習に取り組んでいることを感じられる。
- ・コロナ禍において、タブレットの活用は有効であると思われる。有効活用をしてほしい。
- ・コロナ禍ではあるが、人と人との関わりは、小学生にとって大切だと考えるので、難しいところはあがるが、配慮してほしい。
- ・いじめ防止、事故防止については、全力で取り組んでほしい。
- ・人と人との関わりを大切にすることや道徳などの心の教育の充実が、いじめ防止の根本的なところにつながるのではないかと。

2 学校運営協議会での取組（あいさつ運動）について

- ・回を重ねるごとに、声をしっかり出して挨拶できる子どもが多くなっている。取組を継続していくことが望ましい。
- ・大人が進んで声をかけることも大切なのではないか。さらに、地域に周知し「あいさつ運動」を広げていくために工夫が必要ではないか。

3 令和4年度の学校運営について

- ・令和4年度和土小学校学校運営に関する基本的な方針について、仮承認する。
- ・校長を中心に、連携を上手にとり、教育活動全般にあたってほしい。

学校運営協議会による評価を受けた学校の対応

- 今後も、タブレットの有効活用も含め、児童の学力向上に向けた授業改善について、学校全体で取り組む。
- コロナ禍においても「心豊かなふれ合い」を大切にされた教育活動を充実させる。
- 教職員は、児童との面談などを行う「スマイルウィーク」などを生かし、子ども達の心に寄り添い、成長を見守っていく。
- 本年度の「あいさつ運動」を継続するとともに、学校運営協議会で子ども達への思いを共有し、コミュニティ・スクールの取組を充実する。

校長氏名 辻 美由紀

備考 A4用紙1枚程度に簡潔にまとめ、教育委員会に写しを提出してください。